

平成 26 年 4 月 発行

木童 東京ショールーム

open 月～金 10:00-18:00 土 11:00-17:00
close 日・祝(事前予約いただければ日祝の見学も可能です)

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ 1F
TEL:03-5358-5125 FAX:03-5358-5126
URL:http://www.kodoh.co.jp E-mail:Tokyo@kodoh.co.jp

木童 神戸事務所 兵庫県神戸市北区大沢町藤 437
TEL:078-954-0072 FAX:078-954-0257
E-mail:muku@kodoh.co.jp

★日本の固有種、ヒバ

木材利用ポイントでは、**杉・桧・赤松・黒松・から松・トド松・琉球松・アスナロ(ヒバ)**の8種の国産針葉樹がポイント発生の対象樹種とされています。残念ながら国産材でも広葉樹と土佐柾は対象外、なのに最近アメリカ産の米松が対象樹種に追加されことは大きな疑問です…。

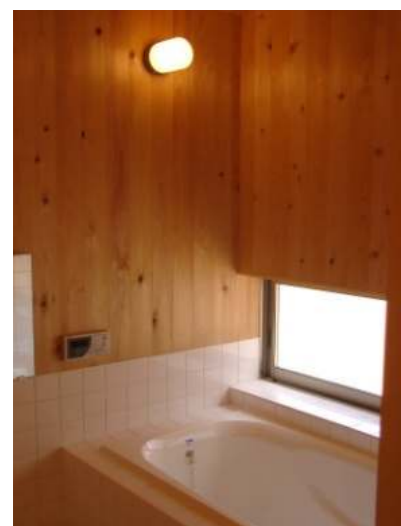
さて、その中で今回はヒバを取り上げてみたいと思います。

青森ヒバは日本三大美木のひとつで、腐朽に耐性が高い木材とされ、土台や建具枠材等様々な建築に使用されて来ました。しかしその殆どが国有林であること、成長が遅いため伐採まで300年以上と長期に渡るなどから、その貯木量を調整するために、国は平成13年度より伐採制限を掛け、現在は伐採禁止の状態になっています。木童の青森ヒバの協力工場も今はほぼ杉を製材している状況です。(意外と知られていませんが、青森県は山の杉の貯木量が日本第3位です。)



ヒバの丸太。外周に黒っぽくなっている所が白太部分です

ヒバ材は北海道から九州まで広く分布していますが、二大産地が青森と石川県輪島地方です。輪島周辺では、江戸時代より植林が行われ、多くのヒバの木が有ります。地元ではヒバのことをアテの木と呼び、石川県で家を建てる際は、「青森ヒバ」「アテ」「ヒノキ」の順で使用する木材の順位があるとされてきました。湿度の高いこの地域ではアテは永らく優位を保っていましたが、時代が移り和室が造られなくなった昨今、アテ材の需要が減り、山には手入れされないアテの木が多くなってきていました。



木童とアテ材の出会いは、今から20数年前に遡ります。出会った頃は特に乾燥に関してまだまだ意識が低く、流通するほぼすべてが天然乾燥材で、関西にそのまま持ってくると施工した床板と床板の間が大きく開くようなものでした。説得と指導をして製品化したものが木童の「能登ヒバ」でしたが、能登半島のヒバ材という認知で建設会社が手配するものですから、安かろう悪かろう製品が流通し、木童にクレームが入った製品は木童の知らないものだったという笑い話にもならない事が多々ありました。その対抗策として一昨年から能登ヒバを北前ヒバと名称変更したのです。

未だに産地の方は人工乾燥を嫌がります。ヒバ材は立木の状態で含水率は60%前後ですので、伐採、製材してしばらく寝かせているだけで乾いた表面になります。元々湿度の高い土地柄なので、それでも良かったのでしょうか。しかし、都市部ではそうはいきません。空調された室内では乾燥が進みます。湿度の高い土地から送られてくるので、湿度の下がる土地だと収縮が出やすくなるからです。比較的安心なのが水廻りでの使用です。浴室の壁天井などに使うと、腐りにくくカビにくいというヒバ材の性能が発揮されます。それは赤身の比率が高いためと言えます(写真参照)。また節有り材でも、ヒノキと違って死節が少ないため、見た目にも美しいという利点があります。木童とお付き

き合いの深い設計事務所さんの中には、浴室に北前ヒバを貼る事が標準化している方も多くおられます。

★千葉に出来る木童のショールームのような家



外壁は焼き杉荒磨き



オビ杉・相生杉・智頭杉が使われています。

千葉市中央区、JR浜野駅から徒歩5分の所に“まちづくり設計舎”さんが新居兼事務所を建築中です。ありがたい事に、ほぼすべての仕様が木童製品のオンパレードとなっています。木童との出会いは、代表の長澤さんがお付き合いの深いスズウ工務店の社員研修旅行に参加されたことでした。その研修旅行を企画、添乗したのが木童です。2008年に宮崎県、2010年に高知県+徳島県と2度に渡り、木童の産地見学を経験されました。その後、独立し今回の建築となったのですが、その住宅づくりの中心に木童の木材をおいて頂きました。産地見学へ行った際の経験がこの設計に生かされ、木童への深い信頼にもつながっています。

千葉方面での親しい設計事務所の存在が希薄だったので、今回の件は木童にとっても幸いなことです。家づくりの相談を受けた際、千葉県での受け皿にもなって頂ける事と、様々な樹種を見て貰える場所が出来る事はとても助かります。

5月に完成予定ですので、またHPにて完成見学会の案内をさせていただきますので楽しみに!

★家づくり現場レポート① 設計：根来宏典建築研究所 施工：たなべ製作所

～館くるみ・南部くり・道産かば・木童桧・健賢杉・南波から松・土佐柾・北前ヒバ・智頭杉・リッ杉～

3月に木童が親しくお付き合いしているNPO法人家づくりの会の事務局が移転しました。

お付き合い始めてから3回目目の移転ですが、その都度木童が材を用意させていただいています。今回は床に木材を使うことができなかったため、天井に木童の床・壁材を使用しています。その中でも館くるみは丸波加工・南部くりは角波加工・リッ加工した杉等、アクセントを付けています。

その他にも、前の事務局の床や壁に使用していた、源平パネルを引戸棚に、特注品の柾の三層パネルを置き床にと、再利用もしています。



これからは、家づくりの会に住宅相談に来られた方々にパネルだけでなく、天井を見て貰いながら、木童の床壁材をご紹介して頂けることになると思いますので、設計会員である建築家の先生方には、樹種と産地を覚えて頂ける様、説明文も用意しました。特に、杉のリッ加工や館くるみの丸波加工、南部くりの角波加工の壁材は、木童のショールームにはサンプルと施工写真だけなので、興味がある方には実際に見て頂くことが出来る場所としてご案内出来るかと思えます。



「家づくりの会」新事務所住所：千代田区三番町20-2三番町パークライフ104号 市ヶ谷駅から徒歩5分、日替わりで建築家の方が無料で住宅相談を受けています

★家づくり現場レポート② 設計：space clip ～南波から松～

日本六古窯のひとつ“信楽焼”を守る神社の境内に可愛いお家が建ちました。こちらの家の床～造り付け家具に南波から松を使って頂きました。竣工の知らせを受け、滋賀県は甲賀市を訪ねて参りました。沢山の狸達の出迎える町並みを抜けると、趣のある神社境内の一角に三角型の白いきれいなお家が。そのなかは、どこかの物語のなかに入り込んだような優しいタッチの空間に包まれます。そして、そこには馴染みの南波から松が、この空間を構成する一員としてちゃんと納まっており、そのお似合いぶりに私は心嬉しくなりました。事前のアドバイスと、材を納めるまでしかできない我々にとって、こうして完成した家を訪ね、材の力が存分に引き出されたのをみられることは本当にありがたいことです。南波から松は時間が経つと色味が深まり艶が出てきます。これからもっと味わい増すことでしょう。



★木童、東京オペラシティショールームOPENよりおかげさまでまる10年、感謝いたします。

今年5月で東京オペラシティビルにショールーム兼事務所を開設して10年になります。今年はより、住宅相談と建築家の方々の個展、企画展に力を入れて行こうと考えております。良質な国産木材の提案と、より良い住宅の提供のお手伝いをこれからも優秀な建築家の方や、腕が良く正直な建設会社、工務店の方々とスクラムを組んで頑張っていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

KODOH NEWS

企画展のご案内 [木童オペラシティショールーム内]

- 第164回企画展 4/21(月)～26(土) 木の家だいすきの会主催 アーキネットデザイン建築設計事務所企画展
- 第165回企画展 4/28(月)～5/10(土) KINOIE SEVEN～ひとり展 アトリエフルカワ/古川泰司
- ※5/10(土)は住宅相談会(無料)を開催
- 第166回企画展 5/12(月)～5/24(土) 「木の家の住みごっこ」展 U設計室/落合雄二
- 第167回企画展 5/26(月)～5/31(土) 木の家だいすきの会主催 澤野建築研究所企画展
- 第168回企画展 6/2(月)～6/7(土) KINOIE SEVEN～ひとり展 マツザワ設計/松澤静男

※6/7(土)は住宅相談会(無料)を開催

※木童通信をHPよりダウンロード出来ます。バックナンバーをご希望の方はこちらをご利用下さい。